



10月3日 東地申8号

「2023年ダイヤ改正等について」の検証

に関する申し入れ【上野運輸区】提出！その1

申し入れの根拠については  
TOKYO MAIL NEWS59号をご覧ください↓



## 〈申し入れ事項〉

「共通」

1. ダイヤ改正毎に乗務の効率化により、運転士・車掌の負担が増して疲弊していることから、健康面を考慮し拘束時間を短くした行路作成をおこなうこと。
2. 首都圏の重要線区を担う上野東京ライン並びに湘南新宿ラインでの異常時に対応できるように、上野運輸区の乗務員と担当列車本数を拡大し行路を増とすること。
3. 始終着に設定されている土浦駅・水戸駅・勝田駅と古河駅の駅ホームにトイレを備えた乗務員詰所を設けること。
4. 以下の列車は据え付けてからの停車時間僅少の為、ドアの取り扱いは運転士ではなく車掌の扱いとすること。
  - ① 休日2行路 上野駅回 533M~533M
  - ② 平日12行路 東京駅回 1658E~1658E
  - ③ 平日・休日56行路 上野駅回 383M~383M

「運転士」

1. 平日3、平日4、平日5、平日81、休日3、休日5、休日81の日勤行路の拘束時間を短縮すること。
2. 平日81行路の籠原場面 1888E~1943E(18:27着、北部電留入区~19:40乗継)の乗務間合い時間を拡大すること。
3. 平日82行路、平日84行路の明け場面の乗務員の負担を軽減するために拘束時間を縮小すること。
4. 平平13行路、平平84行路は、睡眠を目的とする乗務の中断時間拡大のために赤出区から緑出区とすること。
5. 平平9行路の拘束時間並びに乗務時間が長いことから乗務員の負担を軽減するために、拘束時間を縮小すること。
6. 翌平・翌休15行路(527M)、翌平・翌休11行路(525M)、翌平・翌休54行路(51M)の起床~出区点検終了までの時間を実態の合ったものにする。

「車掌」

1. 常磐線特急は二人乗務とすること。また、今年5月1日以降乗務日報の記入方が変更になったことから、未巡回の発生状況と理由を明らかにすること。
2. 優等行路の整理時間を実態に即した時間にするため10分拡大すること。
3. えきねっとシステムメンテナンスは特急列車運転終了後にすること。

安全で働きがい・生きがいが持て健康的で  
労働時間管理が充実した仕事を実現しよう！



10月3日 東地申8号

申し入れの根拠については  
TOKYO MAIL NEWS59号をご覧ください↓

## 「2023年ダイヤ改正等について」の検証 に関する申し入れ【上野運輸区】提出！その2



### 〈申し入れ事項〉

4. 以下の行路の食事を目的とする乗務の中断を1時間以上確保すること。

- ①平日 1004 行路 325M~2342M
- ②平日 202 行路 1649E~1668E
- ③休日 203 行路 1638E~1649E
- ④平日 204 行路 2557Y~2558Y
- ⑤平日 207 行路 4535Y~2554Y
- ⑥平日 208 行路 2548Y~1653E
- ⑦休日 251 行路 1640E~2561Y
- ⑧休日 306 行路 1860E~1885E
- ⑨平日 309 行路 845M~2867Y
- ⑩平日 310 行路 847M~1939E

5. 以下の車掌行路の睡眠を目的とした乗務の中断時間を実質6時間以上とすること。

- ①平平・平休・休平・休休 1004 行路
- ②休休・休平 204 行路
- ③平休・休休 206 行路
- ④平平・平休・休平・休休 209 行路
- ⑤平平・平休 210 行路
- ⑥休平 310 行路
- ⑦平平・平休 351 行路

6. 平日・休日 1002 行路、平日・休日 202 行路、平日・休日 203 行路は出勤時間が早いため、泊地への到着時刻を早めて身体的負担を軽減すること。

「設備」

1. 以下の駅について、お客さまの乗降が増えていることから駅員・テンポラリースタッフなどの係員を配置し安全を確保すること。

- ①常磐線快速線、夕夜間帯の松戸駅下りホーム。
- ②高崎線、夕夜間帯の桶川駅下りホーム。
- ③宇都宮線、全日の赤羽駅下りホーム。

2. 岡部駅下りホームは屋根が無く、夜間帯はホーム上が暗く先頭車両が確認しづらいため、ホーム照明を設置すること。

以上

**安全で働きがい・生きがいが持て健康的で  
労働時間管理が充実した仕事を実現しよう！**